

事務事業名	市民会館施設管理費										担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	14	細目	001	説明	01	課等の長	井澤 邦章	電話	6743

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 43 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	市民会館の清掃、警備、舞台、受付窓口業務などの総合管理委託を行うとともに、施設・設備の修繕を実施することで利用者の利便性を確保し、市民へ音楽・演劇等の発表と鑑賞の場を提供する。				
対象	1. 個人	市民			438,968 人
根拠法令等	法律等	藤沢市民会館条例・施行規則、建築物における衛生的環境の確保に関する法律 等			
事業実施内容	市民会館の施設利用者の利便性の維持や文化芸術の発表、鑑賞の場の提供等を行うため、以下について実施した。 ・舞台業務、受付、警備、清掃など運営管理委託 ・施設、設備、機器等の整備及び修繕 ・施設管理予約システムの運用 ・庭園、旧近藤邸の維持管理				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		332,542 千円	3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和3年度</td> </tr> <tr> <td>常時勤務職員※</td> <td>2.00人工</td> </tr> <tr> <td>短時間勤務職員(再任用・任期)</td> <td>0.00人工</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2.00人工</td> </tr> </table> ※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く		令和3年度	常時勤務職員※	2.00人工	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工	合計	2.00人工
		令和3年度											
	常時勤務職員※	2.00人工											
	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工											
	合計	2.00人工											
	需用費	51,841 千円	光熱水費、物品修繕、施設修繕、消耗品ほか										
	使用料及び賃借料	8,999 千円	施設予約管理システム、大ホール舞台照明調光操作卓賃借ほか										
	委託料	213,789 千円	市民会館舞台・設備・受付等業務委託、除草清掃業務委託ほか										
	負担金補助及び交付金	50,740 千円	奥田公園駐車場負担金、全国公立文化施設協会年会費ほか										
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		332,542 千円	会計年度任用職員(配置数) 0.90人								
		分担金・負担金											
		使用料・手数料	36,448 千円										
		国庫支出金											
		県支出金											
	その他	12,969 千円	(光熱水費実費収入、奥田公園駐車場利用料金納付金)										
	一般財源	283,125 千円											

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
コスト	行政費用 A	368,407	372,218	366,894	367,394				
	(1)現金を伴う支出 (千円)	355,882	359,437	354,744	354,640				
	事業費(支出済額)	334,683	338,056	336,688	332,542				
	償還金利子	0	0	0	0				
	人件費合計(①+②+③)	21,199	21,381	18,056	22,098				
	①常時勤務職員等の給与等	20,167	20,110	15,718	19,171				
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	1,256	2,091				
	③退職金相当額	1,032	1,271	1,082	836				
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	12,525	12,781	12,150	12,754				
	①減価償却費	12,762	12,762	12,762	12,752				
	②退職給与引当金繰入額	-237	19	-612	2				
	③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他( )	0	0	0	0					
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		858.12	429,317	859.51	433,060	843.20	435,121	836.95	438,968
成果実績	指標名	施設稼働率 (大・小ホール、第1・2展示集会ホール平均)	目標	90	実績	87	単位	%	
	備考								

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容 新型コロナウイルス感染症の影響により施設使用の取消が増加している。また、施設再整備を見据えながら施設維持管理を行う必要がある。	有
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	板垣 朋彦	確認日	2022/9/2
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	湘南台文化センター施設管理費										担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	15	細目	001	説明	01	課等の長	井澤 邦章	電話	6743

1. 事業概要

事業開始年度	平成 元 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	湘南台文化センター利用者が、快適な環境で施設を利用し、サービスを受けられるよう指定管理者による運営を行う。						
対象	1. 個人	市民				438,968 人	
根拠法令等	法律等	藤沢市湘南台文化センター条例・施行規則、建築物における衛生的環境の確保に関する法律 等					
事業実施内容	湘南台文化センターの施設運営を指定管理者制度により実施した。また、舞台設備等の賃貸借を行った。 ・施設全般の維持管理 ・子ども達の創造性や豊かな人間性を育む場としてのこども館の運営 ・市民の文化芸術鑑賞の場、自主的な文化活動の場としての市民シアターの運営 ・舞台設備等の賃貸借						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		324,595 千円	3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和3年度</td> </tr> <tr> <td>常時勤務職員※</td> <td>1.00人工</td> </tr> <tr> <td>短時間勤務職員(再任用・任期)</td> <td>0.00人工</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1.00人工</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く</td> </tr> <tr> <td>会計年度任用職員(配置数)</td> <td>0.00人</td> </tr> </table>		令和3年度	常時勤務職員※	1.00人工	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工	合計	1.00人工	※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く		会計年度任用職員(配置数)	0.00人
		令和3年度															
	常時勤務職員※	1.00人工															
	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工															
合計	1.00人工																
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く																	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人																
	費目	支出済額 (千円)	主要内容														
	旅費	2 千円	普通旅費														
	需用費	5 千円	消耗品														
	委託料	294,013 千円	湘南台文化センター指定管理料														
	使用料及び賃借料	30,575 千円	音響システム等賃借料ほか														
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		324,595 千円													
		費目	支出済額 (千円)														
		分担金・負担金															
		使用料・手数料															
		国庫支出金															
		県支出金															
	その他 ( )																
	一般財源	324,595 千円															

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度									
		行政費用 A	416,156	390,615	381,095	400,526									
		(1)現金を伴う支出 (千円)	350,315	324,681	314,568	334,598									
		事業費(支出済額)	342,606	316,906	306,168	324,595									
		償還金利息	0	0	0	0									
		人件費合計(①+②+③)	7,709	7,775	8,400	10,003									
		①常時勤務職員等の給与等	7,334	7,313	7,859	9,585									
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0									
		③退職金相当額	375	462	541	418									
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	65,841	65,934	66,527	65,928									
		①減価償却費	65,927	65,927	65,927	65,927									
		②退職給与引当金繰入額	-86	7	600	1									
		③不納欠損額	0	0	0	0									
		④その他 ( )	0	0	0	0									
		市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	969.34	429,317	901.99	433,060	875.84	435,121	912.43	438,968					
成果実績	指標名	施設利用者数 (こども館・市民シアター)	目標	264,000	単位	人	266,500	単位	人	269,000	単位	人	255,000	単位	人
			実績	287,513	単位	人	240,881	単位	人	40,516	単位	人	102,742	単位	人
	備考														

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額  
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出  
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの  
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容 新型コロナウイルス感染症の影響により施設使用取りやめが増加している。	有
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	板垣 朋彦	確認日	2022/9/2
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	湘南台文化センター整備費										担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	15	細目	002	説明	01	課等の長	井澤 邦章	電話	6743

1. 事業概要

事業開始年度	平成 元 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	湘南台文化センター利用者の安全確保と利便性向上、施設の機能維持のために修繕等を行う。						
対象	1. 個人	市民					438,968 人
根拠法令等	条例(市) 藤沢市湘南台文化センター条例・施行規則						
事業実施内容	湘南台文化センター利用者の安全確保と施設の機能維持のための修繕を実施した。 ・プラネタリウム音響設備等修繕 ・こども館ワークショップルーム照明修繕 ・市民シアター舞台機構の設備改修						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	18,742 千円		
	事業費節別内訳	費目	支出済額 (千円)	主要内容
		需用費	3,562 千円	施設修繕費
		工事請負費	15,180 千円	舞台機構設備改修工事費
財源内訳	R3年度 支出済額	18,742 千円		
	事業費節別財源内訳	費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( )		
		一般財源	18,742 千円	

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	0.15人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.15人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度									
		行政費用 A	45,233	31,188	35,526	20,243									
		(1)現金を伴う支出 (千円)	44,953	31,488	35,677	20,242									
		事業費(支出済額)	42,062	29,544	34,417	18,742									
		償還金利息	0	0	0	0									
		人件費合計(①+②+③)	2,891	1,944	1,260	1,500									
		①常時勤務職員等の給与等	2,750	1,828	1,179	1,438									
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0									
		③退職金相当額	141	116	81	63									
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	280	-300	-151	0									
		①減価償却費	0	0	0	0									
		②退職給与引当金繰入額	280	-300	-151	0									
		③不納欠損額	0	0	0	0									
		④その他 ( )	0	0	0	0									
		市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		105.36	429,317	72.02	433,060	81.65	435,121	46.11	438,968				
成果実績	指標名	施設利用者数 (こども館・市民シアター)	目標	264,000	単位	人	266,500	単位	人	269,000	単位	人	255,000	単位	人
			実績	287,513	単位	人	240,881	単位	人	40,516	単位	人	102,742	単位	人
備考															

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額  
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出  
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの  
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	板垣 朋彦	確認日	2022/9/2
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	湘南台文化センター整備費(繰越分)										担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	15	細目	002	説明	01	課等の長	井澤 邦章	電話	6743

1. 事業概要

事業開始年度	令和 2 年度	終了(予定)年度	令和 3 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	湘南台文化センターの利便性向上、施設の機能維持のために修繕等を行う。(繰越分)						
対象	1. 個人	市民					438,968 人
根拠法令等	条例(市)		藤沢市湘南台文化センター条例・施行規則				
事業実施内容	湘南台文化センターの機能維持のためプラネタリウム機器の設置委託を実施した。						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
	16,500 千円	費目	支出済額(千円)		主な内容
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		令和3年度	
	16,500 千円	分担金・負担金		常時勤務職員※	
		使用料・手数料		短時間勤務職員(再任用・任期)	
		国庫支出金		合計	
		県支出金		※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
		その他( )		会計年度任用職員(配置数)	0.00人
	一般財源	16,500 千円			

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
		行政費用 A	45,233	31,188	35,526	19,303					
		(1)現金を伴う支出(千円)	44,953	31,488	35,677	19,001					
		事業費(支出済額)	42,062	29,544	34,417	16,500					
		償還金利息	0	0	0	0					
		人件費合計(①+②+③)	2,891	1,944	1,260	2,501					
		①常時勤務職員等の給与等	2,750	1,828	1,179	2,396					
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0					
		③退職金相当額	141	116	81	104					
		(2)現金を伴わない支出(千円)	280	-300	-151	302					
		①減価償却費	0	0	0	0					
		②退職給与引当金繰入額	280	-300	-151	302					
		③不納欠損額	0	0	0	0					
④その他( )	0	0	0	0							
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)		105.36	429,317	72.02	433,060	81.65	435,121	43.97	438,968		
成果実績	指標名	施設利用者数(こども館・市民シアター)	目標	264,000	単位	266,500	単位	269,000	単位	255,000	単位
			実績	287,513	単位	240,881	単位	40,516	単位	102,742	単位
備考											

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの



5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	板垣 朋彦	確認日	2022/9/2
----	-------	----	-------	-----	----------



事務事業名	市民ギャラリー運営管理費										担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	04	細目	001	説明	02	課等の長	井澤 邦章	電話	6743

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 61 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市民ギャラリーの良好な利用環境維持に努めるとともに、来場者が快適な空間で鑑賞できるよう施設の維持管理を行う。						
対象	1. 個人	市民					438,968 人
根拠法令等	条例(市)	藤沢市民ギャラリー条例・施行規則					
事業実施内容	市民ギャラリーの運営・管理を行った。 また、次の事業を実施した。 ・カナガワビエンナーレ国際児童画展巡回展(9月21日～9月26日) 入場者数 1,178人 ・公民館サークル美術展(11月30日～12月5日) 入場者数 2,431人 ・公民館サークル写真展(12月7日～12月12日) 入場者数 1,115人 ・高等学校美術展(1月11日～1月16日) 入場者数 2,413人						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度	事業費節別内訳		
	支出済額	費目	支出済額(千円)	主要内容
	693 千円	報酬	94 千円	市民ギャラリー運営協議会委員報酬
		旅費	2 千円	旅費
		需用費	389 千円	消耗品費、チラシ等印刷製本費
役務費		149 千円	電信電話料、運搬料、傷害保険料ほか	
	使用料及び賃借料	59 千円	インターネット使用料、複写機賃借料	
財源内訳	R3年度	事業費節別財源内訳		
	支出済額	費目	支出済額(千円)	
	693 千円	分担金・負担金		
		使用料・手数料	693 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
その他( )				
一般財源				

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	0.50人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.50人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	5.00人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度							
コスト	支出	行政費用 A	88,797	39,838	18,181	20,289						
		(1)現金を伴う支出 (千円)	88,248	40,437	18,182	20,289						
		事業費(支出済額)	74,328	28,402	1,988	693						
		償還金利息	0	0	0	0						
		人件費合計(①+②+③)	13,920	12,035	16,194	19,596						
		①常時勤務職員等の給与等	6,417	4,571	3,930	4,793						
		②会計年度任用職員の報酬等	7,175	7,175	11,993	14,594						
		③退職金相当額	328	289	271	209						
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	549	-599	-1	0						
		①減価償却費	0	0	0	0						
		②退職給与引当金繰入額	549	-599	-1	0						
		③不納欠損額	0	0	0	0						
		④その他( )	0	0	0	0						
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		206.83	429,317	91.99	433,060	41.78	435,121	46.22	438,968			
成果実績	指標名	市民ギャラリー稼働率	目標	100	単位	%	100	単位	%	100	単位	%
			実績	99	単位	%	93	単位	%	30	単位	%
備考												

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容 市民ギャラリーの施設賃借料は、南市民図書館等運営管理費に含まれる。	有
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	板垣 朋彦	確認日	2022/9/2
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	文化行事費										担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	04	細目	001	説明	03	課等の長	井澤 邦章	電話	6743

1. 事業概要

事業開始年度	平成 元 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	魅力ある文化芸術の創造のため、文化芸術の鑑賞機会の充実を図るとともに、将来の藤沢の文化芸術を担う人材を育成するための事業を実施する。						
対象	1. 個人	市民					438,968 人
根拠法令等	法律等	文化芸術基本法、藤沢市文化芸術振興計画					
事業実施内容	藤沢市文化芸術振興計画評価委員会を開催するとともに、若年層などへの文化芸術の鑑賞や体験の機会を提供した。 ・藤沢市文化芸術振興計画評価委員会の開催 ・みらいをひらくワクワク体験ひろばの開催 ・こころの劇場の開催(オンライン配信) ・文化団体の活動支援						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 1,781 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主要内容
		報酬	76 千円	藤沢市文化芸術振興計画評価委員会委員報酬
		負担金補助及び交付金	1,705 千円	藤沢市郷土芸術文化推進事業補助金
財源内訳	R3年度 支出済額 1,781 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 (文化振興基金寄付金)	50 千円	
一般財源	1,731 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	0.30人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.30人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
コスト	支出	行政費用 A	13,802	9,348	3,392	4,782
		(1)現金を伴う支出 (千円)	13,232	9,948	3,393	4,782
		事業費(支出済額)	8,413	7,033	873	1,781
		償還金利息	0	0	0	0
		人件費合計(①+②+③)	4,819	2,915	2,520	3,001
		①常時勤務職員等の給与等	4,584	2,742	2,358	2,876
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0
		③退職金相当額	235	173	162	125
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	570	-600	-1	0
		①減価償却費	0	0	0	0
		②退職給与引当金繰入額	570	-600	-1	0
		③不納欠損額	0	0	0	0
		④その他 ( )	0	0	0	0
		市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		32.15 429,317	21.59 433,060	7.80 435,121
成果実績	指標名	目標	実績	目標	実績	
	ワクワク体験ひろば参加者数	1,550 人	1,451 人	1,600 人	291 人	
備考		令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止				

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容 新型コロナウイルス感染症の影響下における事業実施の手法については引き続き検討する必要がある	有
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	板垣 朋彦	確認日	2022/9/2
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	(公財)藤沢市みらい創造財団芸術文化事業関係費										担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	04	細目	002	説明	01	課等の長	井澤 邦章	電話	6743

1. 事業概要

事業開始年度	平成 4 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	芸術文化創造の活性化及び市民文化活動の支援・育成を図るため、藤沢市補助金交付規則・藤沢市芸術文化振興事業補助金交付要綱に基づき、公益財団法人藤沢市みらい創造財団に対し助成等を行う。						
対象	1. 個人	市民				438,968	人
根拠法令等	その他(要綱等)文化芸術基本法、藤沢市芸術文化振興事業補助金交付要綱						
事業実施内容	公益財団法人藤沢市みらい創造財団芸術文化事業部門への助成により、次の事業が実施された。 ・音楽事業:3事業 8公演 入場者数 4,320人 ・演劇事業:2事業 2公演 入場者数 2,419人 ・学校訪問事業:11回開催 1,431人 ・第71回藤沢市展:出展数470点 入場者数 4,241人 ・各種市民文化事業:ワンコインコンサート、藤沢市芸術文化展等						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		主な内容	
	113,688 千円	費目	支出済額 (千円)		
		負担金補助及び交付金	113,688 千円	公益財団法人藤沢市みらい創造財団への補助	
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
	113,688 千円	費目	支出済額 (千円)		
		分担金・負担金			
		使用料・手数料			
		国庫支出金			
		県支出金			
		その他 (文化振興基金繰入金)	6,610 千円		
		一般財源	107,078 千円		

	令和3年度
常時勤務職員※	0.30人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.30人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
コスト	支出	行政費用 A	123,122	110,118	101,229	116,689				
		(1)現金を伴う支出 (千円)	123,154	110,116	101,230	116,689				
		事業費(支出済額)	120,263	107,201	98,710	113,688				
		償還金利息	0	0	0	0				
		人件費合計(①+②+③)	2,891	2,915	2,520	3,001				
		①常時勤務職員等の給与等	2,750	2,742	2,358	2,876				
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0				
		③退職金相当額	141	173	162	125				
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-32	2	-1	0				
		①減価償却費	0	0	0	0				
		②退職給与引当金繰入額	-32	2	-1	0				
		③不納欠損額	0	0	0	0				
		④その他 ( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		286.79	429,317	254.28	433,060	232.65	435,121	265.83	438,968	
成果実績	指標名	目標	32,500	単位	33,000	単位	33,500	単位	33,500	単位
			人	人	人	人	人	人		
	実績	実績	23,747	単位	19,706	単位	3,836	単位	12,411	単位
			人	人	人	人	人			
	備考									

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額  
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出  
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの  
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	板垣 朋彦	確認日	2022/9/2
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	文化振興基金積立金										担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	04	細目	003	説明	01	課等の長	井澤 邦章	電話	6743

1. 事業概要

事業開始年度	平成 3 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	文化芸術の振興を継続的に行うための財源を確保することを目的として文化振興基金へ積立てを行う。				
対象	1. 個人	市民			438,968 人
根拠法令等	条例(市) 藤沢市文化振興基金条例				
事業実施内容	文化振興基金への寄付金及び利子を、文化振興基金に積立てた。				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		主な内容	
	24,447 千円	費目	支出済額 (千円)		
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
	24,447 千円	費目	支出済額 (千円)		
		分担金・負担金			令和3年度
		使用料・手数料			常時勤務職員※
		国庫支出金			短時間勤務職員(再任用・任期)
	県支出金		合計		
	その他 (文化振興基金寄付金・文化振興基金利子収入)	24,447 千円	※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く		
	一般財源		会計年度任用職員(配置数)		
			0.00人		

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
		行政費用 A	9,145	16,667	12,881	27,448				
		(1)現金を伴う支出 (千円)	8,855	16,363	12,882	27,448				
		事業費(支出済額)	6,928	13,448	10,362	24,447				
		償還金(利子)	0	0	0	0				
		人件費合計(①+②+③)	1,927	2,915	2,520	3,001				
		①常時勤務職員等の給与等	1,833	2,742	2,358	2,876				
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0				
		③退職金相当額	94	173	162	125				
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	290	304	-1	0				
		①減価償却費	0	0	0	0				
		②退職給与引当金繰入額	290	304	-1	0				
		③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ( )	0	0	0	0						
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		21.30	429,317	38.49	433,060	29.60	435,121	62.53	438,968	
成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
上記指標名の設定ができない理由		市民や団体等からの善意による寄付金に対して指標の設定はできないため。								

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの



5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	板垣 朋彦	確認日	2022/9/2
----	-------	----	-------	-----	----------